



2023年 8月号

8月の季語と俳句



- 朝顔 (あさがお)
- 夾竹桃 (きょうちくとう)
- 鳳仙花 (ほうせんか)
- 芙蓉 (ふよう)
- 木槿 (むくげ)
- 弟切草 (おとぎりそう)
- 桔梗 (きぎょう)



長谷川かな女

日記かな

朝書く癖の

朝顔に

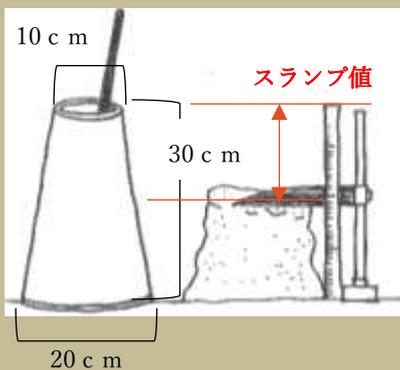


庭仕事のゴン

⑦モルタル作り(その2 モルタルの固さと用途)

スランプ試験とは?

コーンの中にモルタル及びコンクリートを
入れてから引き抜き、その沈んだ値(スラ
ンプ値)を測定し、固さを判定する試験



硬さの表現 (たとえ)

- ポソ
握ってもまとまらない
↓土間打ち用
- バサ
握ったらまとまる
↓レンガ・ブロック積み用
- ミン
標準的な固さ。伸びが良い。
↓塗壁用
- マヨネーズ
流動性がある
↓型枠用
- ポタージュ
水分吸収率が激しい場所に向く



クイズ

怖い名前の植物



少しヒヤリとする名前の植物を集めてみました。
説明書きに該当する植物を写真から選んでください。



①オトギリソウ（弟切草）

こちらは本当に怖い逸話があります。門外不出の薬草である弟切草の秘密を弟にばらされた鷹匠の兄が、弟を切り捨て殺してしまいます。弟切草の葉の斑点は、その返り血であるとか。



②クチナシ（梔子）

口が無いと関連付けてつい怖い想像をしてしまいますが、実が割れない、くちなわという蛇が実を好んで食していた…といった由来があるようです

③ウシコロシ（牛殺し） 別名：カマツカ

別名のカマツカは鎌柄と書きます。ウシコロシの木は固く丈夫なことから柄に使用されます。名前の由来には、牛に鼻輪を通す際に、この木を用いて穴を開けた、牛追い棒として使用した等諸説あります。



ミニ知識 かゆい植物紹介

虫取りにお子様を連れて野へ山へ、蔓延る庭の草取り…など自然に触れる機会が多い夏。

そのようなわけで、今回は、身近に生えて『かぶれ』を引き起こす植物を紹介しようと思います。

① ウルシ科の植物

ウルシ、ツタウルシ、ヤマハゼ、ヌルデ

樹液に接触することで強いかゆみを引き起こします。

中には、触れなくても傍によるだけで痒くなる方もいるようです。ウルシ科の植物は羽根型の葉が特徴ですが、ツタウルシは三又に葉を付けます。



ツタウルシ



ハゼノキ

② カクレミノ

庭木にも用いるカクレミノですが、樹液にかぶれ成分を含みます。



③ イラクサ

茎や葉の表面に毛のようなトゲがあります。そのトゲの基部にかゆみ成分の入った囊があり、トゲに触れ囊が破れることによりかぶれます。



藪に入る時は肌を晒さないこと、むやみに葉を摘んだり、枝を折ったりしないようにしましょう。

